

大雪山

○ 11 月の火山活動評価：静穏な状況

火山活動は静穏な状況です。

○ 11 月の活動概況

・ 火口や噴気の状態 (図 1、図 2)

7日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。旭岳山頂付近には雲がかかっており、地獄谷爆裂火口上部の観測は出来ませんでしたが、地獄谷爆裂火口下部に位置する主な噴気孔の状態に変化はありませんでした。

○ 噴火警報、噴火予報の発表状況 (12月6日現在)

気象庁は平成 19 年 12 月 1 日より、大雪山について噴火警報及び噴火予報の発表を開始しました。それに伴い、12 月 1 日に以下のような噴火予報を発表しました。

なお、噴火警報、噴火予報と噴火警戒レベルについては気象庁ホームページを参照ください。

・ 活動状況及び予報警報事項：平常

火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。大雪山の噴火予報・警報は、噴火予報 (平常) です。

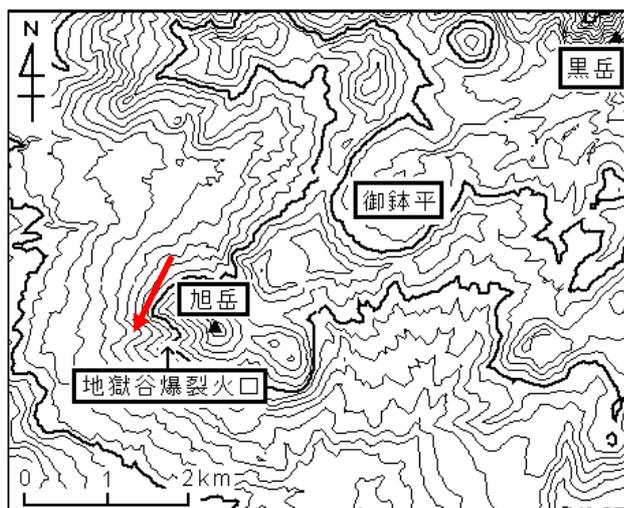


図 1 大雪山 火口周辺図



北海道開発局提供 (2007年11月7日撮影)

図 2^{*} 大雪山 地獄谷爆裂火口の状態
(2007年11月7日 図1の矢印方向から撮影)

※ 資料は気象庁のほか、北海道開発局のデータも利用して作成しています。

資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (地図画像)』を複製しています (承認番号 平 17 総複、第 650 号)。